

新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、昨年中は協会の運営にご協力いただき誠にありがとうございました。

新しい年を迎えるに当たり、一言ご挨拶させていただきます。

我々道路業界を取り巻く環境は、東日本大震災を契機に東日本と西日本では大きく異なってきております。我が中部支部は東と西の狭間に置かれ、設備投資の減少傾向が続く中ゆっくりと後退傾向にあるように思われます。会員各位のご苦勞がこの寒さと相まって身に凍みる感があります。しかしながら全く社会資本整備、民間設備投資が無くなるわけでもありませんので、その中でいかに生き残っていくのかを考え行動していかなければなりません。当協会ができることは会員の代表として「中部地整との意見交換」、「NEXCO中日本との意見交換」等を通しての入札・施工・安全パトロール・緊急支援等のあり方、各種団体との連絡・情報交換そして会員各位に対する情報提供などを継続実行していくことであると考えています。

辰年から巳年へととなり、国内外の環境が大きく変化していくものと推察しますが（12月16日の衆議院選挙前に記述）、その変化に乗り遅れることがないようにしつとく、愚直に、前を向いて今年もチャレンジして参りたいと思いますので、会員各位の叱咤激励をよろしくお願いいたします。

結びに、皆様にとってこの新しい年が実り多い年となり益々活躍されることをご祈念申し上げます。 2013年新春吉日



支部長
岩田 裕美
一般社団法人日本道路建設業協会 中部支部



新年あけましておめでとう御座います。

旧年中は日本道路建設業協会中部支部役員並びに会員の皆様には支部活動にご支援を賜り誠に有難うございました。

昨年を振り返ってみますと一番の明るい話題として、我々の道路建設業界では新東名高速道路162kmの開通が挙げられます。首都圏と中部圏を結ぶボトルネックが解消されたことは特筆されることだと思います。また、10月には明日の道路建設業界の人材確保の為、また労働環境改善の初弾として「第二土曜日を統一閉所日」が挙げられました。一朝一夕では難しいかもしれませんが、真剣に取り組むべき課題と思います。

一方、世界を見渡せば主要各国で選挙が有り、我国でも総選挙が有りました。この選挙結果がどのような変化をもたらすのか不透明な部分もありますが、今年の景気を含め、道路建設業界にも大きく影響が出る事は確実です。本年は『癸巳』の年にあたり、荒れる巳年が予想されます。何とか皆様と共に平穏な年にしていきたいものであります。

結びに当協会会員の皆様のご健勝と、会員各社のご隆盛を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



幹事長
川端 清太
一般社団法人日本道路建設業協会 中部支部